

K.I.T.虎ノ門大学院 シラバス 2012 - 知的創造システム専攻

※ 欠席・遅刻する場合は、事前相談/連絡を徹底してください。(連絡先:虎ノ門事務室[メール or 電話])

※ 授業中の食事は控えてください。また、携帯電話をマナーモードにするなど、受講するにあたってのマナーをお守りください。

科目名	区分/コード	単位数	VOD 閲覧	開講期
知的財産評価特論	主要科目 8710	1	学内 のみ	2期 (前学期)
Advanced Intellectual Property Evaluation				
担当教員名	Eメールアドレス		連絡方法/オフィスアワー	
菊池純一			メールアポイントにて随時	

関連している科目(履修推奨科目)

特許ライセンス特論 I、II	知的財産管理・戦略特論1, 2	企業会計・財務要論【他専攻】
----------------	-----------------	----------------

授業の概要と到達目標

授業の主題と概要

知的財産(特許権、商標権、著作権、営業秘密)を理論的に整理することから始めて、知的財産の評価手法を体系的に学び、基本となる論理的視座を習得する。次の段階として、証券化事例、損害賠償事例、ライセンス取引事例、会社簿外取引、標準化等における知的財産評価のモデルをベンチマークとして学ぶ。

- 1.知的財産評価の基礎編:類型化、評価局面、評価手法、税務の扱い、財務会計の扱い、管理会計の扱い、流通動向と諸統計など(インカム・ロジックの学習)
- 2.知的財産評価の応用編:アーリーステージ価額、損害賠償判例、職務発明対価、商標ビジネススキーム、ライセンス取引質評価、標準化必須特許、信託知財、知財報告書(情報開示)、簿外資産評価など(リファレンス・モデルの学習)
- 3.知的財産評価の演習:知財学理論に基づき、知財リスク要因の評価、寄与度計算など(アウトカム・ロジックの学習)

到達(習得)目標

インカム・ロジックに基づく評価手法を習得し、アウトカム・ロジックの基礎を理解する。

受講対象者

経営企画担当者、知財戦略担当者、コンサルタントなど、特に、範囲は限定しないが、税務・会計の基礎論は授業では扱わない。知的財産の評価に関する体系的な知識及び手法の習得

履修上の注意事項やアドバイス

事前学習として、ビジネスアーキテクト専攻にて開講する、「企業会計・財務要論」を履修しておくことも推奨する。また、知財知識もある程度習得しておくよう、知財業務についていない方は特に、1期にて十分に学習し、本科目に望んでいただきたい。

※ 欠席が、**2コマ(90分=1コマ)**を超える場合は、単位取得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。

※ 本科目は、毎週クラス(90分×8日間、合計8コマ)で構成する。

コンピテンシ修得目標

知識領域(Y軸)	ヒューマンパワー(Z軸)	思考プロセス(X軸)
Y1: 基盤法令・テクノロジー	Z1: 問題発見力 ○	X1: 企画
Y2: 応用法令・実務・テクノロジー ○	Z2: 独創力	X2: 構想
Y3: グローバル法令・実務	Z3: 問題解決力 ○	X3: 調査・分析 ○
Y4: マネジメント ○	Z4: プレゼンテーション力	X4: 設計・開発
Y5: 戦略立案	Z5: 変革推進力	X5: 変革
Y6: 標準化	Z6: コミュニケーション力 ○	X6: 導入・運用
-	Z7: リーダーシップ力	X7: 評価・検証 ○
-	Z8: ネゴシエーション力	X8: リーガルマインド

プラクティカム

イベント/ケース	教育技法	マテリアル/ツール
1 知財パッケージのリスク評価	グループ討議、パネル評価	ケーススタディ資料
2 キャラクターの知財評価	KJ法、シナリオメイキング	ケーススタディ資料
3 損害推定の評価	判例分析チャート	判例資料
4 シャープレイ値の計算	グループ討議	電卓、ケーススタディ資料
5 評価リファレンスの構築	単純モデルのテンプレート	折り紙等

評 価 の 方 法		
(総合評価項目と割合)		評 価 の 要 点
出席・授業への参加度	30%	毎回、事務室より出席簿を準備する。
プラクティカム・シート評価	30%	
最終レポート	40%	
合 計	100%	
テキスト、参考図書 など		備 考
※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合もございますので予めご了承ください ※		
テキスト (購入が必要)	特に指定しない。毎回、資料を配布する。	主要な講義資料は、 学習プロセスの中で、随時、 配布する。
参考図書 (購入は任意 ・講師推奨)	アーリーステージ知財の価値評価、菊池・石井監訳、 中央経済社、2004	
参 考 URL		
適宜紹介予定		

週	学 習 内 容		事前準備	担当者	時間
1	基礎編その 1:評価ロジック・モデルの構築			菊池	90 分
6/14	ミニイベント	特になし			
2	基礎編その 2:インカム・ロジックに基づく評価手法		評価手法の種類につ いての学習	菊池	90 分
6/21	ミニイベント	特になし			
3	応用編その 1:適性リスクの評価方法		知財証券化の種類に ついて学習	菊池	90 分
6/28	ミニイベント	知財パッケージのリスク評価			
4	応用編その 2:簿外資産の適正評価方法		知財会計の原則につ いての学習	菊池	90 分
7/5	ミニイベント	キャラクターの知財評価			
5	応用編その 3:訴訟事案の算定方式			菊池	90 分
7/12	ミニイベント	特になし			
6	応用編その 3:合理的算定に至るための必要条件			菊池	90 分
7/19	ミニイベント	損害推定の評価			
7	応用編その 4:RAND 条件下における評価方法			菊池	90 分
7/26	ミニイベント	シャープレイ値の計算			
8	発展編その 1:複合知財の質的指標評価			菊池	90 分
8/2	ミニイベント	評価リファレンスの構築			

学習内容やスケジュール等、状況に応じて、一部変更・改善が生じる場合もあります。
講義収録は、特別講師を招く場合を含め、事情によっては収録できない場合もあります。
予めご了承ください。

専任教授 確認記録欄
確認者氏名: